



校長室だより

令和6年度
10月24日
NO.30

秦梨の秋☆芸術の秋☆感性の秋☆



岡崎のハーモニー



市技術・家庭科作品展
秦梨小代表作品



芸術の祭典「おかざきっ子展」
秦梨小展示ブース



岡崎市理科作品展 2024 秦梨小代表の作品



金木犀の花言葉は「謙虚」。花自体は目立たずとも、その香りから強い存在感が感じられます。登下校、「匂いがする」そんな子供の声も聞かれました。匂いに気づき、花に目を止める、秋はそんな「感性」を育む季節とも言えるでしょう。

今年で六十一回を数えるおかざきっ子展も、子供たちの「感性」に触れる場です。岡崎市民なら必ず出展してきた史上最大級の展覧会でも、一人一人がテーマより感じたものを、何もないところから、自分の感覚で表現していきます。今年のテーマ「うごく」のもと、一、二年生の「ゆらり ゆらり」はゆらゆら動く個性的な動物たちが、三、四年「ようこそ秦梨200」では操り人形のように動く動物たちが、五、六年の「風の通り道」では、風で動くオブジェが、そしてその風を感じられる作品が、会場を飾りました。心を動かし、頭を動かし、手を動かして、子供たちは感性を育むことができました。

技術家庭科作品展には、今年が六年生の作品が展示されました。丁寧に作られた紺色のバッグやナップも、それぞれの感性が感じられます。理科作品展からは、何に目をつけるのか、何をどうやって調べるか、そこにも感性が感じられました。

感性に優劣はありません。個性と似ていて、どの子も素敵な感性を持っています。あるとすれば、その感じる力の強さや、自分の感性や価値観に近いものを好んだり、人や自然から自分がないものを得ようとしたり、真似しようとしたりする力の差であるように思います。多様化の中、様々なことに心を動かし、それぞれの良いところを認め、自分なりの表現でアウトプットできる、そうした子供の感性を磨いていきたいと思えます。

いよいよ、二学期の学芸会を迎えます。子供たちの最高の感性に触れ、私たちも感性を豊かにしたいと思います。

- ・おかざきっ子展の作品は、26日の学芸会時に校内に展示いたします。ぜひご覧ください。
- ・10月27日予定の秦梨学区地域総合防災訓練は、選挙のため中止となりました。ご確認ください。